

# 12 腎細胞癌

※ レジメン名称を [クリック](#) または [Ctrl](#) + [クリック](#) してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、[“現在のページを印刷する”](#) を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
1	共通	12001-1A	<a href="#">Torisel 療法</a>	
2	共通	12002-1A	<a href="#">ニボルマブ療法(240mg)(腎)</a>	
3	共通	12003-1A	<a href="#">ニボルマブ+イピリムマブ療法(腎)</a>	
4	共通	12004-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ+アキシチニブ療法(腎)</a>	
5	共通	12005-1A	<a href="#">ニボルマブ倍量療法(480mg)(腎)</a>	
6	共通	12006-1A	<a href="#">ニボルマブ・カボザンチニブ併用療法(腎)</a>	

12001	腎細胞癌	Torisel 療法	申請科
			泌尿器科

H23.7 登録 H27.7 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂

H 薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トーリセル点滴静注液 (Temsirolimus)	25mg	div. (1h)	7日間毎

耐性になるまで

化療ベット予約:1時間30分で登録

Regimen

内服	トーリセル投与 30分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服			
5分	メイン①生理食塩液	50mL	1B	
1時間	側①生理食塩液	250mL	1B	<b>備 考</b> ※トーリセルは 20mg、15mg、10mgと減量する場合あり  <b>【レジメンシステム登録】</b> 12001-1A Torisel 療法 ・レスタミン錠 入院時はレジメン内処方を服用 外来時は済み処方にて投与  12001-2A Torisel 療法(外来用) ・レスタミンは済み処方にて投与
	トーリセル	25mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液	50mL	1B	

12002	腎細胞癌	ニボルマブ療法(240mg)(腎)	申請科
			泌尿器科

H30.1 登録 H30.9 改訂 R2.12 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
オプジーボ (Nivolumab)	240mg/body	div.(30分)	day1
2週毎 可能な限り継続		化療ベット予約:1時間で登録	
Regimen			
5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B		
30分	側①生理食塩液 100mL 1B オプジーボ 240mg	備 考	
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。</li> <li>・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。 なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。</li> <li>・30分以上かけて点滴静注すること。</li> <li>・オプジーボによりinfusion reactionが発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</li> </ul>	
【レジメンシステム登録】			
12002-1A ニボルマブ療法(腎)			
H30.9 添付文書改訂に伴い 3mg/kg→240mg/body へと用量変更			
R2.12 バイタルサインのモニターはオプジーボとして初回投与時のみと記載変更			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
12003-1A	共通	腎細胞癌	<a href="#">ニボルマブ+イピリムマブ療法(腎)</a>	泌尿器科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b> PS;0~2( まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)	
オプジーボ (Nivolumab)	240mg/body	div(30分)	day1	
ヤーボイ (Ipilimumab)	1mg/kg	div(30分)	day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・4回/ 2剤を4回投与後はオプジーボのみ2週間毎に投与	化療ベット予約:2時間で登録		
Radiation 併用 無	1回 Gy× 日、 Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			<ul style="list-style-type: none"> <li>・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。</li> <li>・ヤーボイは1~4mg/mlの濃度に希釈する必要があり、体重幅を考慮して溶解用生食は50mLボトルから25mLを抜き取りヤーボイを混注する。</li> <li>・オプジーボ、ヤーボイによりinfusion reactionが発現することがあるため、初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</li> <li>・2剤を4回投与後は12002-1A ニボルマブ療法(腎)を適用する。</li> </ul>
5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
30分	側①生理食塩液 100mL 1B オプジーボ 240mg 1V			
30分	側②生理食塩液 100mL 1B			
30分	側③生理食塩液 50mL 25 mL ヤーボイ ( )mg			
5分	側④生理食塩液 50mL 1B			
備考	・2剤の投与にあたり、インラインフィルターは0.2ミクロンを使用すること。			<b>【レジメンシステム登録】</b> 12003-1A ニボルマブ+イピリムマブ療法(腎)  R2.12 バイタルサインのモニターについて追記

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科	
12004-1A	共通	腎細胞癌	<a href="#">ペムブロリズマブ+アキシチニブ療法(腎)</a>	泌尿器科	
適応患者					
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b> PS; 0 ~ 2 ( まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )			
薬剤の量・経路・時間・1クルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間					
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)		
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body	Div(30分)	Day1		
インライタ (Axitinib)	1回 5mg 1日 2回 (患者の状態により適 宜増減。1回 10mg 1 日 2回まで増量可能)	経口	Day1~21 連日		
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎 可能な限り継続	化療ベット予約:	1時間で登録		
Radiation 併用 有・無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr				
レジメン					
投与時間	投与日及び投与ルート				
内服	Day1~day21 連日 インライタ 5mg 2錠 分2				
	5分	day1 メイン① 生理食塩液 50mL 1B	<b>備考</b> ・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること ・キイトルーダ希釈液の点滴溶解中の最終濃度は 1~10mg/mLとなるように調製すること ・30分かけて点滴静注すること ・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること  <b>【レジメンシステム登録】</b> 12004-1A ペムブロリズマブ+アキシチニブ療法(腎) インライタは内服処方オーダー  R2.12 バイタルサインのモニターはキイトルーダとして初回投与時と記載変更		
	30分	側① 生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V			
全開 (5分)	側② 生理食塩液 50mL 1B				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
12005-1A	共通	根治切除不能又は 転移性の腎細胞癌	ニボルマブ倍量療法(480mg)(腎)	泌尿器科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; 0 ~ 2 ( まで)			□adjuvant □ neoadjuvant ■再発・進行 □その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オブジーボ (Nivolumab)	480mg/body	div (30分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎・回	化療ベット予約: 1.0 時間で登録		
Radiation 併用有・無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分	day1 ① 生理食塩液 50mL 1B			
30分	② 生理食塩液 100mL 1B オブジーボ 240mg 2V			
5分	③ 生理食塩液 50mL 1B			
備考				
<p>・オブジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。</p> <p>・オブジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。</p> <p>なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食50mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。</p> <p>・30分以上かけて点滴静注すること。</p> <p>・オブジーボにより infusion reaction が発現することがあるため、オブジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</p>				
【レジメンシステム登録】				
12005-1A ニボルマブ倍量療法(480mg)(腎)				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
12006	共通	腎癌	<a href="#">ニボルマブ・カボザンチニブ併用療法(腎)</a>	泌尿器科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <input checked="" type="checkbox"/> IV PS; ~ ( まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オプジーボ (Nivolumab)	240mg/body	Div. (30分)	Day1	
カボメティクス (Cabozantinib)	40mg/body 1日1回 空腹時	p.o.	毎日	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2週毎・回	化療ベット予約: 1時間で登録		
Radiation 併用 有・無 <input checked="" type="radio"/>	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
内服  5分  30分  全開 (5分)	連日 カボメティクス錠 40mg 1日1回 空腹時			
	day1			
	メイン①生理食塩液	50mL	1B	
	側①生理食塩液	100mL	1B	
	オプジーボ	240mg	1V	
	側②生理食塩液	50mL	1B	
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。</li> <li>・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。</li> <li>・30分以上かけて点滴静注すること。</li> <li>・オプジーボにより infusion reaction が発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</li> </ul>				
【レジメンシステム登録】				
12006-1A ニボルマブ・カボザンチニブ併用療法(腎)				

